ガラピカ

《特許出願中》

安　全・無　公　害

薬品は一切使用しません

■ガラピカの3大特長■

1. 簡単除去

☞『ガラピカ』はなにをやっても落とす事ができなかった水アカ、シリカ（鱗状被膜）、ガラスの色焼けをガラスに傷をつける事なく完全に除去できます。

2. 安全・無公害

☞少量の水だけで作業ができ、強力洗剤や化学薬品は一切使わないので、安全・無公害です。水養生も不要です。

3. コーティング剤の下地処理に

☞光触媒（液化酸化チタン）をはじめとするコーティング剤を塗布する前に『ガラピカ』を使用する事により、下地処理として抜群の効果を発揮。

《特許出願中》

■用途■

・温泉のガラス・カガミに　　・ガラスの下地処理に
・オフィスビル等の建物の窓ガラスに　・コーティング剤の塗布作業前に
・乗り物の窓ガラスに　　・長期的なメンテフリーが可能

『ガラピカ』の取扱説明書は、こちらからダウンロードできます。
マウスの右ボタンをクリックして「対象をファイルに保存」を選んで下さい。
『ガラピカ』取扱説明書

ご覧の通り、何を使っても取れないとあきらめていた汚れを除去できますので、高額な出費のもと新しいガラスを入れ替えずにすむので、コストダウンにもつながります。

■商品の仕様/作業効率について■

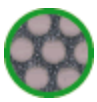
	タイプ	サイズ	施工面積	作業効率	定価
	ガラピカ（ソフトタイプ） ・一般フロートガラス用	標準サイズ(75×120mm)	80～120㎡／枚	5分/㎡	\7,000
		大型サイズ(100×185mm)	150～240㎡／枚	3分/㎡	\12,000
	ガラピカ（ハードタイプ） ・強化ガラス用	標準サイズ(75×120mm)	80～120㎡／枚	5分/㎡	\7,000
		大型サイズ(100×185mm)	150～240㎡／枚	3分/㎡	\12,000

※施工面積・作業効率は、ガラスの状態により大きく変わります

サイズは2種類

標準サイズ： 75×120mm
大型サイズ：100×185mm

ソフトタイプ(黄緑)
・軟質ガラス用
LP表示の軟質性、合わせガラスや鏡に頑固に固着する珪酸化物 鱗状汚損被膜等の除去処理及び鏡面仕上げ研磨用。



ハードタイプ(黒)
・強化ガラス、セミ強化ガラス用
ソフトタイプ（黄緑）研磨布で除去処理をしても、尚、除去することが困難な場合にのみご使用ください。

※より広い作業面積を施行する場合は、標準サイズを3枚並べて使用する特大サイズもございます。
※作業面積や施工するガラスにあわせて大きさ、タイプの組み合わせをお選び下さい。

■ご使用前に用意していただくもの■

※『ガラピカお試しキット』には全て同梱されています

1 オービタルサンダー　ガラピカに合ったサイズ・性能のものをお選びください

回　転　数：９０００～１２０００回転
動　力　源：電動・エアー式どちらでも可
ガラピカ標準サイズ：７５×１２０mm
大型サイズ：１００×１８５mm

弊社ご推奨ハンドツールのご案内

2 マジックシート　ガラピカをオービタルサンダーに装着する時に使用します

※弊社推奨のハンドツールには、あらかじめマジックシートが装着、もしくは同梱されております。お気軽にお問い合わせください

3 霧吹スプレー　ガラス面に水を噴霧時に使用します

◆はじめてご利用いただくお客様には、セットで便利な『ガラピカお試しキット』を お求め下さい。

■ご使用前に必ずお読みください■

⚠注意

- 必ずオービタルサンダーに装着してご使用ください。回転式ポリッシャーや手作業での使用は絶対に行わないで下さい。
- ガラスの表面に特殊処理（フィルム処理や塗装・UV）加工を施しているガラスや鏡、及びJIS表示のない外国車への使用は避けてください。
- 一般乗用車のフロントガラス（軟質・合わせガラス）の表面は走行中やワイパー作動時に泥、砂、小石との摩擦による影響を受け全面傷だらけになっているケースが多分にあるため使用はお控え下さい。
  ※バス・鉄道会社などの硬質フロントガラスへのご使用につきましては問題御座いません。
- 油煙被膜がべったりついた汚れのひどいガラスには、弊社製『ガラクイック』をご使用ください。本製品を使用することにより、作業時間が短縮され、作業効率が大幅にアップします。
- 薬剤処理を施したガラスは、ガラス表面の組成そのものが変質しているため(例：火傷跡のケロイド状)、ガラス研磨布で磨きあげてもガラス本来の輝きを復元させる事は困難です。

■ガラスの種類をご確認ください■

ガラピカの種類	ガラスの種類		表示
ガラピカ ハードタイプを使用	強化ガラス	強化ガラス 強化並板ガラス 半強化ガラス 強化フロートガラス	T T S S T T P
ガラピカ ソフトタイプを使用	その他のガラス	普通板ガラス 磨き板ガラス フロート板ガラス 合わせ加工ガラス	S P P L

※ 左記は一例です。表示はメーカーにより異なりますので左記以外のガラスもしくはガラスの種類が判別出来ない場合は、まず最初にソフトタイプをご使用ください。

☞コメント

硬質ガラスに限り、ソフトタイプで除去作業が困難な場合はハードタイプで大まかな除去を行ってからソフトタイプで磨き上げると作業効率が飛躍的に上がります。

■ご使用方法

工程1

ご使用の前に外観上の欠陥やキズがないことを確認してください

※ガラス面にホコリや泥が付着したまま研磨しますとキズの原因になりますので研磨前に必ずよく水洗いをしてください。特にサッシ枠などの隅の汚れは入念に水洗いをしてください。

工程2

ガラピカをオービタルサンダーに正しく取り付けてからガラス面を水スプレーで濡らし、『ガラピカ』も軽く水洗いをしてください。

工程3

作業前に必ずテスト研削を行って下さい。

※ガラス表面の中で取り分け汚れのひどい窓枠下部あたりを３０ｃ㎡程の小さな区画を決め、除去作業を行って下さい。

ハンドツールをガラス面に軽く押し当ててからスイッチを入れてください。

・除去作業がスムーズに出来た場合→**工程５．**へお進み下さい
・除去作業が困難な場合→ ただちに作業を中断し、**工程４．**を行って下さい

工程4

弊社製『ガラクイック』（強力油膜・被膜除去剤）でガラス表面の前処理を行って下さい。

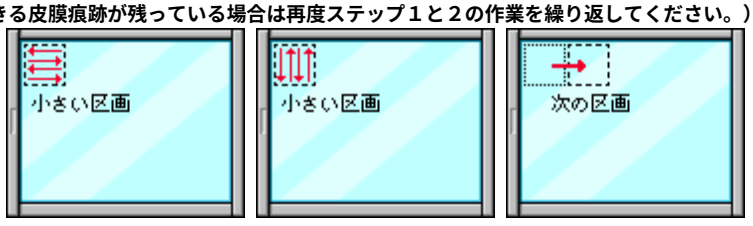
※油膜・被膜のひどいガラスには『ガラクイック』で前処理を行うことにより『ガラピカ』の性能がより効果的に発揮できることになり作業効率 が従来より30～50%短縮することが可能です 。

ガラクイック

工程5

図1のようにガラス処理面を３０～４０ｃ㎡ずつ定めて縦横に満遍なく均一に研磨して下さい。頑固な油煙被膜や鱗状被膜（ウロコ）が分解処理されると白濁色の水滴が流れ落ちてきます。水滴が無色透明になりガラスが透明になるまで繰り返し行ってください。処理後は水できれいに洗い流してください。（汚れ落ちが不十分な場合やガラス面が侵食されてできる皮膜痕跡が残っている場合は再度ステップ１と２の作業を繰り返してください。）

図1



ステップ1　ステップ2　ステップ3

● 汚損被膜の除去作業を作業途中で中断した場合、中途半端な研磨状態で研削面が滑らかになってしまい、次に除去作業をする際は何倍もの作業時間を必要とすることになります。除去作業はガラス1枚、1枚 を確実に又、サイズの大きなガラスにつきましては上記の（図１ ステップ１、２）のように小さい区画ずつ処理範囲を定めて確実に除去処理を行ってから（ステップ３）のように次の区画へ移動して下さい。

● 窓枠の際や角を施工する時にサンダーの角をやや立てて押し当てるようにすると効率よく作業が行えます。

工程6

ガラスメンテ作業の最後の仕上げには、弊社製『ガラコート』のご使用をお勧します。従来型ガラスコーティング剤と比較して、耐久性と撥水性を大幅に向上した新配合のガラス専用コーティング剤です。コーティングすることにより３～５年間程度メンテフリーになります。又、本製品は強力な撥水・撥油被膜を形成し汚損被膜付着の原因である地下水などに含まれた珪酸化物がガラスに結合する事はありません。油膜・油煙被膜・虫の死骸・鳥のフン等の固着も防止します。又、氷結した雪・霜も簡単に除去できます。硬いコーティング被膜の特長は、強力な洗車機や酸やアルカリ又、－４０℃～２００℃まで影響をうけず長期にわたり防汚効果を発揮します。

⚠ 注意

- 必ずオービタルサンダーに装着してご使用ください。回転式ポリッシャーや手作業での使用は絶対に行わないで下さい。
- ガラスの表面に特殊処理（フィルム処理や塗装・ＵＶ）加工を施しているガラスやＪＩＳ表示のない外国車への使用は避けてください。
- 薬剤処理を施したガラスへの使用はお控えください。
  （薬剤処理を施したガラスの表面は、組織そのものが変質しているため磨き上げてもガラス本来の輝きを復元させることは困難です）※メーカー保証は出来ません
- 油膜・被膜など油汚れの酷いガラスには、前処理として 弊社製『ガラクイック』 をご使用ください。（油膜特有のぬるぬるが原因で発生する研磨布の空すべりを防止し、作業効率が大幅に向上します）
- 一般乗用車のフロントガラス（合わせガラス・軟質性）の表面は走行中やワイパー作動時に泥、砂、小石、などの影響を受け全面傷だらけになっているケースが多分にあるため使用はお控えください。
  ※バス・鉄道会社などの硬質フロントガラスへのご使用につきましては問題御座いません。
- 作業を行う際、水以外の洗剤や薬剤は絶対使用しないで下さい。『ガラピカ』の耐久性を著しく低下させるだけでなく、ガラス表面を傷める恐れがあります
- 『ガラピカ』を手に持ってガラス面を絶対にこすらないで下さい。ガラス表面に傷が付く恐れがあります
- あらかじめガラス面に目立たない傷がある場合、汚損被膜を除去することで顕著に目立つことがあります

⚠ 警告

- 電動工具を使用する場合は、ゴム手袋を使用するなど感電事故防止に心掛けて下さい。
- 安全帽・保護メガネ・防塵マスク・防護手袋を着用し作業にあった服装にて他の作業者の安全を確認して作業をして下さい。
- 磨き傷や損傷の原因となりますので磨耗した『ガラピカ』は使用しないで下さい。
- 目立たない箇所で試し、異常のない事を確認してからご使用ください。
- プラスッチック製のガラス二次製品には使用しないで下さい。
- 保管の際は直射日光のあたる所、高温多湿や凍結する所には置かないで下さい。

製品一覧表へ

有限会社ミリオン・ジオサービス
〒630-8031 奈良市柏木町398番地
Tel:0742-35-6538 Fax:0742-35-6539
ガラピカに関するお問い合わせはgarapika@mg-service.co.jpまで